

桐生商工だより



(桐生市) 懸社天満宮

絵葉書に見る桐生⑨

「懸社天満宮」

桐生市が昭和20年代に発行した絵葉書から「懸社天満宮」。

天満宮は、桐生新町の宿頭として天正9年(1591)に久方村梅原から「赤城の森」と呼ばれていた現在地に遷座したといわれる。桐生領54ヶ村の総鎮守格であった。桐生新町はこの門前から街並みを整えたといい、江戸時代には境内で織物を取り扱う紗綾市が開かれた。現在は毎月第一土曜日の骨董市の賑わいが往時を偲ばせている。これまで桐生市が発行した絵葉書には必ず含まれる「桐生の名所」であり、新しい年には大勢の市民が初詣に訪れる。

The main article

- 会頭年頭挨拶
- 桐生商工会議所 平成23年の歩み
- FT桐生写真コンテスト審査結果

1月の無料相談会 開催のお知らせ

- 信用保証協会 金融・経営相談
1月10日(火) 午前9時30分～正午 当所2階 相談室
- 行政書士なんでも手続き相談
1月13日(金) 午後1時30分～午後3時30分 当所4階 404号室
- 特許発明相談
1月20日(金) 午後1時30分～午後3時30分 当所2階 相談室
- 法律相談
随時予約を受け付けます(連絡先: 桐生商工会議所 Tel.0277-45-1201)

Contents 2012.1

もくじ

- 日野 茂 桐生商工会議所 会頭 年頭挨拶 1
- 亀山豊文 桐生市長 年頭挨拶 2
- 日本商工会議所会頭/群馬県商工会議所連合会会長 年頭挨拶 3
- 桐生市長とみどり市経済界との懇談会報告 4
- 会員感謝の集い/会員ボウリング大会報告 5
- 平成23年分決算・申告説明会案内/「きりゅう商品券」情報 6
- 桐生商工会議所 役員・議員名刺広告(年賀) 7~10
- 桐生商工会議所関係団体 年賀広告 11
- 桐生商工会議所 平成23年の歩み 12・13
- 両毛5市ネットワークコーナー(各市会頭年頭挨拶) 14・15
- 第17回ファッションタウン桐生写真コンテスト審査結果 16

表紙: 「絵葉書に見る桐生」シリーズ 絵葉書提供: 川嶋伸行氏

人 口 123,461人 (-133)

世 帯 数 50,207世帯(+7)

商 工 業 者 数 6,249人

会 員 数 1,875人(+2)

人口、世帯数は11/30現在、事業所数は平成18年事業所統計より算出。会員数は12/1現在。

Picking up

ピックアップデータ

有効求人倍率(10月)

	前月比
◆ 桐 生	0.66 (+0.04)
◆ 群 馬 県	0.79 (±0.00)
◆ 全 国	0.67 (±0.00)

桐生公共職業安定所調べ

群馬県乗用車新車登録台数

	前年同期比
◆ 9月	5,753台 (-8.3%)
◆ 10月	4,461台 (+28.6%)
◆ 11月	4,266台 (+8.8%)

群馬県自動車販売店協会調べ

新大型保障プラン

定期保険

+

普通傷害保険

アクサ生命

アクサダイレクト

アクサ生命保険株式会社 桐生営業所
〒376-0023 桐生市錦町3-1-25 桐生商工会議所会館3F

NTT 東日本
群馬支店 管内

約3世帯に1世帯は、**FLET'S光**をご利用中です

詳しくは **0120-116116** | <http://www.ntt-east.co.jp/gunma/>
●営業時間 9:00~21:00 年中無休(年末年始除く)
*設備状況などによりご利用いただけません場合があります。 **NTT東日本 群馬支店**

桐生商工会議所 1月のスケジュール

4日(水)	仕事始め 会頭挨拶 (当所事務所) 第17回FT桐生写真コンテスト ロビー展 (当所1階ロビー) 31日迄	19日(木)	日商 常議員会・議員総会 (東商ビル) スマートフォン勉強会 (桜の間) 群馬県金属プレス工業会 新年懇親会 (一婦美)
5日(木)	新年挨拶廻り	20日(金)	特許発明相談 (当所2階相談室) 青年部 新年会員交歓会 (ケービックホール)
6日(金)	青年部 役員会 (桜の間) 桐生商工会議所 新春互礼会 (ケービックホール)	24日(火)	会頭・幹部会議 (応接室) 震災により被害を受けた方への申告相談会 (ケービックホール) 中小企業危機管理セミナー「事業継続計画 (BCP) の策定」1日目 【後援】 (405号室)
8日(日)	第64回桐生市成人式 (市民文化会館シルクホール)	25日(水)	女性会 コーラス練習 (市民文化会館)
10日(火)	会頭・幹部会議 (応接室) 信用保証協会 金融・経営相談会 (相談室)	26日(木)	県連合会 新年互礼会 (前橋商工会議所)
11日(水)	女性会 コーラス練習 (市民文化会館) 青申会 桐生祝連・桐生会 役員新年賀詞交歓会 (ケービックホール)	27日(金)	青申会県連 新年賀詞交歓会 (高崎ビューホテル) 桐生地区プラスチック工業会 会員新年懇親会 第17回FT桐生写真コンテスト 表彰式 (ケービックホール)
12日(木)	J I S 溶接技能者評価試験 (群馬産業技術センター) 女性会 新春祝賀会 (桐生グランドホテル)	30日(月)	日商 会員増強研修会 (くるまプラザ) 31日迄 県連合会 会頭会議及び知事との情報交換会 (前橋市)
13日(金)	行政書士なんでも手続き相談会 (404号室)	31日(火)	会頭・幹部会議 (応接室)
17日(火)	会頭・幹部会議 (応接室)		
18日(水)	日商 各種委員会 (東商ビル) 19日迄 日商 議員・委員長・副委員長 商工会議所専務理事懇談会 (東京會館)		

12月21日現在

新入会員の紹介

ご入会ありがとうございました。

(平成23年12月1日～12月20日現在) (順不同・敬称略)

部 会	事業所名	代 表 者	業 種	住 所
環境・生活	(株)ミツバ環境分析リサーチ	小 川 克 雄	専門サービス業 (環境計測・測量)	広沢町
工 業	野澤鉄工所	野 澤 哲 夫	輸送部品加工	広沢町

太田商工会議所 / 地域ジョブ・カードサポートセンターよりお知らせ

ジョブ・カード制度 をご利用ください!

人材確保・育成を目指す経営者の皆様へ

助成金を伴う職業訓練制度(厚生労働省/ジョブ・カード制度)の活用をご提案いたします!

詳しくは…

桐生商工会議所 又は 太田商工会議所
地域ジョブ・カードサポートセンター



TEL.0276-45-2121

ジョブ・カード事業HP

参考 <http://www.jc-center.jp/>

まごころ一番

桐生典礼会館

事前相談24時間
承ります

☎0277-55-0101
<http://www.kiriten.co.jp/>

インターネットのことなら何でも

インターネット
接続サービス

ホスティング
サービス

セキュリティ
サービス

専用線接続
サービス

ホームページ
作成サービス



株式会社 サンフィールド・インターネット

群馬県桐生市広沢町3-4025 フリーダイヤル0120-55-0520
<http://www.sunfield.ne.jp/> office8@sunfield.ne.jp

MITSUBA

1台のクルマの中に、いったいどれだけのミツバのテクノロジーが搭載されているの知っていますか?... エンジンの始動から目的地に無事に到着するまで、ミツバの製品は、クルマのさまざまな部分で、安全で快適なドライブのお手伝いをしています。



1台のクルマ、そこにはたくさんのミツバの技術が生きています。

きっと、あなたのクルマにも——
株式会社 ミツバ

本社 / 群馬県桐生市広沢町1-2681 〒376-8555
TEL (0277) 52-0111 (代) <http://www.mitsuba.co.jp/>



STOP! 地球温暖化

きれいな地球を守るため
我々は努力します!

桐生ガス株式会社

〒376-0035 桐生市仲町3-6-32
TEL.0277-44-8141

■ 鉄骨建築工事一式 ■ 国土交通大臣 M グレード認定工業

株式会社 佐藤工業

代表取締役 佐藤 良男

本社 / 桐生市相生町3丁目530-1
TEL.0277-52-6677(代)



柿文織物合資会社



代表社員 柿沼 洋一

〒376-0011 桐生市相生町二丁目828番地
TEL (0277) 52-2091 FAX (0277) 52-2191

炭素繊維で水質浄化

当社では、婦人服地などの他、炭素繊維としてストランド状ポリアクリルニトル(PAN)を水質浄化用に編織したムカデ型炭素繊維を生産し、環境の改善にも取り組んでいます。



大・人・の・女・性・は・美・し・い

LADY'S FASHION

MARUKIN

〒376-0044 桐生市永楽町 6-26 TEL 0277(46)2662

新春を迎えて



所 議 会 頭
野 日 生 商 工 会 議 所 会 員
桐 生 商 工 会 議 所 会 員

平成24年の年頭にあたり、桐生商工会議所会員の皆様に新年の挨拶を申し上げます。

さて、送りました平成23年のわが国はリーマンショックからの回復の兆しが見えた矢先に東日本大震災が発生、未曾有の大災害は多くの犠牲をもたらした。その後の混乱により大きな打撃を受けた一年でした。震災後はあらゆる部分で「変化」が表れました。被災地の復興も緒に就いたばかりですし、福島原発問題も終息への先行きが見えませんが、電力問題は本年もまた大きな課題となることは間違いありません。震災に直面した日本人の国民性が高く評価されているところですが、この厳しい状況を日本人の持つ真面目さで是非とも乗り切っていかなければならないと思います。

世界経済ではギリシャの財政問題をきっかけに広がった欧州のソブリン危機の解決の目途が立たず、アメリカでは国債の格下げや政治の機能不全がこれまで以上に表面化するなど、混迷を極めております。また、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）につきましては、経済に閉塞感の漂う中で、参加していかないと日本の企業は対等な立場での競争が出来なく

なってしまうので、日本の将来を左右する課題でもあり、政府には是非とも推進していただきたいと思っております。また、長引くデフレの中の円高問題は企業努力だけではどうにもならない段階にきております。このままでは企業はますます空洞化し、雇用も守れなくなってしまうことが懸念されます。政府には思い切った制度的支援により、経済を支える中小企業者の発展のための施策を講じていただくよう切に期待するものであります。

桐生商工会議所はこの震災で、自らの会館が大きな被害を受け、その復旧も未だ半ばという状況ですが、被災地に対してはいち早く経営指導員を派遣し、各部会も研修事業の中で現地へ赴き、支援や経済交流及び情報収集を行ってまいりました。また、被災地から桐生市に避難してきた人たちの支援のため、組織を挙げて義援金をお贈りするとともに、会議所主催の各種行事を支援チャリティとして実施してまいりました。

歴史上にも未永く記録される昨年は、日本のため、地域のために商工会議所はどうあるべきか、深く考えさせられた年でもありました。もちろん商工会議所にとって最も大切なのは構成員である会員各位であり、会員のニーズを的確に捉え、実践することが商工会議所の使命であると存じます。このため、皆様の生の声を職員による全件訪問により様々な分野にわたりお伺いし、その上で商工会議所に何が出来るのか、何を会員の皆様に発信していくべきなのか、会員事業所との情報交換を通して本年も情報発信機能を強化していきたいと思っております。

群馬大学工学部との連携を中核とした産学官との協同は桐生産業界の発展のための大きな道筋であり、さらなる連携強化を図りたいと存じますが、国の予算が削減されているという現状の中で関係省庁に対しては強く研究開発の必要性を訴え、予算確保について声を出していきたいと存じます。また、飛び地

状態となっている「桐生・みどり両市の合併」については、地域発展への最重要課題として両市経済界の実質的な交流と併せて、本年も産業界から合併実現に向けての気運を醸成していきたいと存じます。

商工会議所の重要な役割として「商工業者の声を集約する」という政策提言活動がありますが、より多くの会員の声や要望を反映するためにも会員の増強に努力し、より良い桐生の産業振興と地域づくりに積極的に取り組んで参る所存であります。

桐生市の産業界は多様な業種で構成されており、それぞれに特殊な技術や特色ある事業を展開され頑張っておられますが、各業界にわたり幅広く商工会議所がサポートできるよう、特に中小零細企業に対する経営支援活動については従来にも増して力を注いで参りたいと存じます。

また、世界経済が欧米中心からアジア経済へシフトしている中で実際に現地に向き経済のグローバル化がどのように進行しているのか、会議所として調査団を派遣していくことを検討したいと存じます。当所がかねてから取り組んできた産業観光やファッショントウン構想の推進は中心市街地の再生や観光振興とも連動し、さらに環境に配慮した企業風土の醸成については、群馬大学工学部の脱温暖化プロジェクトなどと併せて、引き続き努力していきたいと存じます。

さらに、会員のため、産業界のため、地域のために、厳しい状況の中から活路と明るさを見出し、私たち商工会議所役員・議員が一丸となって、国・県・市の行政とより緊密な協調体制を図りながら、桐生地域産業経済の発展と地域社会の活性化のために情熱を傾けて参る覚悟であります。

皆様におかれましては、それぞれのお立場で事業の繁栄に精進され、新しい年が業界はもとより、桐生市の限らない発展につながる年になりますことを祈念申し上げます。

年頭あいさつ



桐生市長
亀山 豊文

明けましておめでとうございます。商工会議所会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、日本経済に目を向けますと、東日本大震災や電力供給の制約をはじめとした原子力発電関連の災害の影響により依然として厳しい状況が続いております。また、海外景気や為替レート・株価の変動によっては、更なる景気の下振れリスクが存在し、デフレや雇用情勢の悪化懸念が拭いきれない状況となっております。

このような中、昨年、桐生市は市制施行90周年・水道創設80周年の節目の年を迎えましたが、引き続き、地域経済の活性化を最優先課題として、企業ニーズを把握するため、きめ細やかな企業訪問を実施するとともに、新たに桐生の逸品発信事業を立ち上げ、桐生ブランドの定着に努めるほか、緊急雇用対策をはじめ、雇用の創出・確保や積極的な企業誘致

などの施策を展開してまいりました。

また、全線開通した北関東自動車道へのアクセス道路として、更なる利便性の向上を図るため、中通り大橋の4車線化に着手するなど、市民生活に直結した環境整備に力を注いでまいりました。

一方、昨年発生しました未曾有の大震災や台風による土砂災害などにより、市民生活に対する不安が高まる中、生活環境や飲料水などについて、放射性物質汚染に対する安全確認検査を行うとともに、防災体制の充実・強化に努めておりますが、これからも引き続き、市民の皆様が安全で安心して暮らしていけるまちづくりをより一層推進してまいります。

また、環境省のチャレンジ25地域づくり事業に続く、国土交通省の超小型モビリティを活用した実証実験にも取り組み、産学官民総ぐるみで地域特性を活かした自然エネルギーの活用による低炭素都市づくり、地球温暖化防止、地域経済の発展に努めてまいります。

さらに、本年は、本町一・二丁目地区における「重要伝統的建造物群保存地区」への国からの選定とともに、昨年開催された群馬デステイネーションキャンペーンを契機に観光客も増加しておりますので、まちなかへのにぎわいは、さらに増すものと期待しており、まちなか観光を推進するなど、積極的な市政運営に努めてまいります。

なお、みどり市との合併につきましては、両市の将来ビジョンを調査研究するための組織を設置し協議を行っており、合併の実現に向け、引き続き努力してまいりますので、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新年にあたり、商工会議所会員の皆様のますますのご健勝とご多幸、そして輝かしい年になりますよう

うご祈念申し上げます、年頭のあいさつとさせていただきます。



年頭所感



日本商工会議所
会長
岡村 正

平成24年の新春にあたり、謹んで
ごあいさつを申し上げます。本年が
東日本震災からの本格的な復興と
日本経済再生に向けて、力強く前進
する一年であることを心から祈念い
たします。

全力を挙げて震災からの復興を

昨年、わが国は未曾有の大災害に
見舞われました。震災から約10カ月
を経て、被災地の環境は徐々に改善
されつつありますが、復興は緒に就
いたばかりであり、地域経済や雇用
を支える中堅・中小企業の業績回復
も途上の段階にあります。また福島
県では、原発事故によりいまもなお
深刻な状態が続いています。
商工会議所では、震災直後から各



(社)群馬県商工会議所連合会
会長
曾我 孝之

年頭あいさつ

新年明けましておめでとうございます。
皆様にはご清祥のうちに新年を
お迎えのことと、心からお慶び申し
上げます。

さて、昨年の我が国経済状況は、
内外の大きな出来事に揺れ続けた年

総力を結集し震災からの復興と日本経済再生を

地で支援活動を展開し、昨年10月に
は被災地の完全復興を目指して51
4商工会議所が総力を結集すること
をあらためて誓った「福島アピール」
を決議しました。これからも全国的
なネットワークを活かし、支援活動
に全力を傾注してまいります。

中小企業の活力強化を成長戦略の柱に
国内外の経済環境は予断を許さな
い状況にあります。欧州では財政問
題が金融市場、さらには実体経済に
影響を及ぼす負の連鎖が懸念され、
米国では緩やかな景気回復が続い
ているものの、財政問題もあり先行き
には不透明感があります。また、世
界経済を牽引してきた新興国にも減
速感が見られます。国内経済も震災
の復興需要により回復基調にあるも
の、超円高局面の継続やエネルギー
1の供給制約、さらにはタイ洪水被
害による影響などで企業は苦境に立
たされており、産業空洞化の進展が
強く懸念されています。

時代に即した

きめ細かい支援を

でした。

リーマンショックから一部業種を
中心に景気持ち直しの気配も見られ
た矢先、3月に東日本大震災が発生
しました。直接被害を受けた方
や、夏の電力不足、消費活動の自粛
や風評被害に苦しめられた企業も多
く、特に未経験の放射能汚染につい
ては、国の対策も後手後手となり、
関係者には死活問題となっています。

さらに、欧州EUにおける金融不
安と急激な円高、株安の問題、タイ
における日本企業への水害、そして

わが国が再度立ち上がり持続的な
成長路線を歩むには、中小企業や地
域経済が活力を取り戻すことが不可
欠です。そのためには、成長戦略の
柱に中小企業の強化を位置付けるこ
とが必要であり、政府に対し強く働
き掛けてまいりたいと存じます。

積極的な国際展開を
グローバル化が加速する中、日本
経済成長のためには、アジアとも
に成長することが不可欠です。中小
企業も積極的な国際展開が重要であ
り、商工会議所はこれまで以上に国
内外の政府関連機関などの連携を
密にしながらサポート態勢を強化し
てまいります。一方、円高などによ
り海外移転を余儀なくされ、空洞化
が進む状況は何としても防がなけれ
ばなりません。国際的な立地競争力
を高め、国内企業のみならず海外企
業からも魅力ある投資環境を整備さ
れるよう取り組んでまいります。

昨年、政府はTTP(環太平洋経
済連携協定)交渉への参加を決定し
ました。今後、TTPなどの経済連
携協定締結により中小企業の国際展
開を強力に後押しすることが期待さ
れますが、同時に高いレベルの経済
連携と両立できる強い農林漁業の実
現と、地域経済対策の確実な実行が
必要です。交渉では影響を極小化し
つつ、守るべきものはしっかりと主張
して国益の最大化を図らなければな
りません。政府には強い交渉力を発
揮できるように万全の態勢で臨むこと
を求めるとともに、商工会議所とし
ても農商工連携などによる6次産業
化や輸出促進、観光振興などを含め
た地域活性化に一層取り組んでまい
ります。

TPP交渉への参加問題などがあり
ました。
このような状況ではありませんが、
県内では明るい話題もありました。
春には、北関東自動車道が全線開
通し、栃木、茨城県などが大変近く
になりました。

これを機会に3県商工会議所の交
流会議を本県で開催し、今後、各県
の特性を活かしつつ広域的交流・連
携を深め、地域や経済の活性化を図
る方針がまとまりました。

また、夏には「群馬デザインネー
ションキャンペーン(DC)」が展開
され、一時極端な落ち込みのあった
観光客も持ち直し、ほっとしている

日本再生に向けて勇気と希望を
東日本大震災は国民生活や日本経
済に深い傷跡を残しながらも、日本
人の行動力、絆の深さをあらためて
示すことになりました。これからも
国民が絆と連帯の精神で一丸となつ
て、本格的な復興と日本経済再生を
果たしていかなければなりません。
商工会議所は昨年、2020年オリ
ンピック・パラリンピック招致実現
に向けて全面的に支援することを表
明しましたが、これが国民の心を奮

とところです。今後ともアフターDC
としてこの運動の継続に協力をして
いきたいと考えています。

一方、円高状態への懸念は払しょ
くされていません。産業の空洞化が
進み、ものづくり立県の本県として
も、また輸出産業に引つ張られてき
た国内景気にも暗雲が立ち込めます。
TTP交渉の参加問題では先行き分
かりづらいところもありますが、農
業を始めとして、社会経済活動各般
に及ぶ変革がどのようになるのか、
政府には、キチンとした説明と充分
な対応策をお願いしたいと考えてい
ます。

厳しい現状を切り開くには中小企
業だけの努力では限界があります。
商工会議所としては、今後とも国
や県市などへ時代に即した支援策を
強く要望して行きたいと考えていま
す。また、中心市街地の復権、地域
イベントの企画等少子高齢化社会を
カバーするきめ細かい事業への取り
組みなどを通じ、皆様との連携をさ
らに強固にしていきたいと思います。

会員各位と県内商工業の課題解決、
隆盛発展に取り組みたいと思いま
す。結びに、本年が実り多い年であ
りますよう祈念申し上げます。

結びに、本年が実り多い年であ
りますよう祈念申し上げます。

亀山市長がみどりの市経済界と懇談

「合併は地域の将来への責任ある対応」

亀山豊文桐生市長とみどりの市の経済界メンバーとの懇談会が十二月八日、笠懸町商工会館で開かれた。

桐生・みどりの両市の経済交流を進める赤城地区産業経済交流会（会長・日野茂桐生商工会議所会頭）のみどりの市側メンバーの呼び掛けにより開催され、約二十人が出席した。

十月に石原条みどり市長が桐生の産業界並びに業界団体に合併要望に対する回答を行っているが、亀山市長もみどりの市経済界と意見交換を行う中で桐生市の財政状況などの理解を深めてもらうために出向いたもの。

石原市長が懸念を示していた退職手当について亀山市長は「団塊世代の大量退職に伴う負担の平準化対策として発行した。二十三年度末で二



合併の必要性を強調した亀山市長

十八億円弱あるが、十九年度から三年間で職員を百二十人削減して、後年度の償還予定額の財源確保はなされている。合併の障害になることはあり得ない」と語った。

また、桐生市の各種社会資本整備の先行投資、両市の職員数にしてもみどりの市からの受託業務に携わる職員を控除すると両市とも千人当たり九人と変わらないことなどを説明した。

さらに、かつての桐生広域圏事業は千九百億円にのぼり、桐生市が広域圏の中心市として過大な負担をしてきたこと、斎場と消防の共同処理二施設は現在に至るまで無償で土地を提供している実態などに触れ、「施設の老朽化で建て替える場合は現在の受託・委託関係が継続するかどうかには懸念が伴う」と語った。

合併については、地方分権の推進や少子高齢化の進展、広域的な行政需要の増大などの社会背景から究極の行財政改革であるとして、「地域の将来への責任ある対応」のためにも実現していくことの必要性を強調した。

両毛五市会頭集い

関東経済局長と懇談

照井恵光関東経済産業局長と両毛五市商工会議所会頭との懇談会が十一月二十八日に桐生商工会議所で開催された。当日は、両毛五市商工会議所から、足利・早川慶治郎会頭、佐野・島田嘉内会頭、太田・正田寛会頭、館林・河本榮一会頭と桐生・日野茂会頭、塚越平人副会頭および各地の専務理事が出席し、意見交換を行った。

懇談会は、両毛五市商工会議所を代表して幹事会議所の日野会頭があいさつした後、照井関東経済産業局長より、「新たな経済産業構造と成長戦略の検討並びに中小企業政策について」経済産業省の施策説明がなされた。この中で照井局長は、東日本大震災の被災地復興や原子力事故・震災への対応、エネルギー対策や円高問題などに対応できる支援策を盛り込んだ第三次補正予算の概要を説明。特に産業空洞化を回避するため企業等の国内立地推進に向けた補助金を創設したことを強調、「両毛地域にも対象となる企業があると思うので、大いに活用してほしい」と語った。

続いて、各地商工会議所会頭から、東日本大震災後の地域の経済状況、商工会議所の取り組み、円高をはじめとする中小企業を取り巻く厳しい現状が報告され、施策に反映してもらおうよう理解を求めた。両毛五市商工会議所では、連携を深めながら今後も地域活性化に向け関係当局と協議を重ねていく計画。

なお、照井局長は懇談会に先立ち、朝倉染布(株)と(株)ミツバ本社及び新里工場を視察した。



当所ケービックホールで開催された懇談会

会員増強

運動を本格化

今年度最低二千を目標に

十二月六日に開催された当所常議員会の席上、「会員増強運動実施計画」が承認された。

当所の会員数は現在二千人を切っており、平成七年度三千二百七十人いた。ピーク時の六割弱に過ぎない。今年度の推移をみても、年度当初から約三十人の会員が減少している。経済環境の変化により、操業停止、廃業による会員資格の喪失が多いとはいえ、これ以上の会員減少は当所の運営に大きな支障が生じることから、本格的な会員増強に取り組んでいく。

今年度の目標件数を二百十二件に設定し、役員・議員・幹事・職員が一丸となって目標の達成を目指す。具体的には、会員になることのメリットをまとめた会員加入パンフレットを作成し会員勧奨を進めていく。

6日新春互礼会

当所ケービックで開催

平成二十四年桐生商工会議所新春互礼会が、一月六日（金）午後三時から当所六階ケービックホールで開催される。当所の役員、議員をはじめ青年部、女性会のメンバーなどが参加し、新しい年に交流を深める。

また、来賓として桐生市長、群馬県知事、地元選出国会議員などが臨席する予定。

第6回 会員感謝の集い

福引・アトラクション大盛況!!

第六回桐生商工会議所「会員感謝の集い」が十一月三十日（水）午後六時から会議所会館ケービックホールで盛大に開催された。

会員の声を今後の会議所活動に生かしていこうと会員交流委員会（須藤誠吾委員長）の企画で今回が六回目、約二百六十人の会員が参加した。席上、二十五年の永年継続会員百十三人に対し表彰が行

われ、出席者に日野会頭から感謝状が贈呈された。

また、アトラクションは「NHKのど自慢桐生大会」で優勝した中野菜穂子さんが坂本冬美の「祝い酒」などを熱唱。福引抽選会は地デジ対応液晶テレビや自転車、食事券、カタログギフト、お米、フルーツなど豪華な景品が当たり、大きな盛り上がりを見せた。



約260人の会員が参加した「感謝の集い」(上) アトラクションで熱唱した中野菜穂子さん(左下) 恒例の大抽選会(右下)

64名が参加

会員ボウリング大会

今回で十八回目になる会員ボウリング大会が十二月二日（金）に桐生スターレーンで開催され、会員事業所の従業員など六十四名が参加し、白熱したゲームが繰り広げられた。大会は、日野茂会頭と須藤誠吾会員交流委員長による始球式で幕を開けた。

競技は、男女別の個人戦で二ゲームの合計ポイントで競われ、男性の部では、小林一雄さんが総得点三百四十八ピン、女性の部では、村岡君江さんが同じく三百十三ピンで優勝した。

上位入賞者は次の通り。
(敬称略)

【男性の部】

▽優勝 小林一雄（フジエ事務機株）▽準優勝 宮澤保志（インターワイヤード株）桐生工場）▽三位 浅沼薫哉（インターワイヤード株）桐生工場）

【女性の部】

▽優勝 村岡君江（ムラオカ理容室）▽準優勝 小林ようこ（小林理容所）▽三位 横塚裕美（太陽印刷工業株）

「若者がんばって」桐二で就職ガイダンス

桐生市と桐生商工会議所、桐生地区勤労対策協議会、桐生公共職業安定所の主催で「桐生第一高等学校就職ガイダンス」が十二月五日（月）に開催された。

就職を希望する高校二年生を対象に、毎年開催されるもので、今回は百二十一名の生徒が参加した。

FT桐生学

地元住民ら30人が参加

「鍛冶屋通り」を検証

桐生の機械金属文化の発祥と発展をテーマにした「桐生学」の三回目となるプログラムが十二月十七日に開催され、約三十人が参加した。

今回は、かつて錦町に存在したと思われる「桐生鍛冶屋通り」を検証するワークショップ。この通りは、盛運橋付近から新宿通りに掛けての約四百メートルの路地で、昭和初期に十八軒の鍛冶屋（鉄工所）が軒を連ねたとみられている。

当日は、地元の錦町東町会自治会長の北山清さん、同西町会自治会長の関口荘一さんも参加し情報交換した。

今回の開催は、次の通り。▽テーマ 戦時中の疎開

全体講話を担当した桐生公共職業安定所の原所長は「厳しい経済環境だが、若者には是非頑張ってもらいたい」と参加した生徒達を激励した。

その後、業種ごとに分かれ、各々希望する業種の企業担当者に話を聞いた。参加した生徒は、企業の生の声に熱心に耳を傾けていた。



かつての「鍛冶屋通り」を歩く参加者たち

「きりゅう商品券」使用期限終了

登録店の換金手続きは1/20まで

桐生商工会議所などが発行した「きりゅう商品券」は、十二月三十一日で利用が終了した。

登録店の銀行での換金手続き期限は一月二十日まで。換金手続きについては、登録の際に交付した「きりゅう商品券取扱登録証明書」（桃色の用紙に取扱金融機関名が明記されている）と商品券を金融

機関に持参し、口座振替依頼書に必要事項を記入して窓口へ提出。後日、店舗の口座に商品券の代金が振り込まれる。

十二月二十日現在の商品券換金状況は、千円券、九万四千七百九十七枚が換金、換金率は七十九%。期限内の換金をお忘れなく。

お問い合わせは、当所商業課まで。(Tel四五―一二〇二)

再商品化委託申込受付中

2/10まで

容器包装リサイクル法(以下「法」という)により、「容器」「包装」を利用して中身を販売する事業者、「容器」を製造する事業者、「容器」および「容器」「包装」が付いた商品を輸入して販売する事業者は、「特定事業者」と呼ばれ、再商品化(リサイクル)の義務があります(但し、小規模事業者は除きます)。「特定事業者」に該当する場合は、不明な点をご確認のうえ、お早めに再商品化委託申込のお手続きをお願いいたします。

容器包装リサイクル法(以下「法」という)により、「容器」「包装」を利用して中身を販売する事業者、「容器」を製造する事業者、「容器」および「容器」「包装」が付いた商品を輸入して販売する事業者は、「特定事業者」と呼ばれ、再商品化(リサイクル)の義務があります(但し、小規模事業者は除きます)。「特定事業者」に該当する場合は、不明な点をご確認のうえ、お早めに再商品化委託申込のお手続きをお願いいたします。

● 申込期限 平成二十四年二月十日(金)

● 平成二十四年度の再商品

また、同制度に関する説明会・個別相談会が開催されます。詳細は次の通り。

- ▽日時 平成二十四年二月七日(火) 午後二時～四時三十分▽会場 前橋商工会議所会館▽問合せ 前橋商工会議所(〇二七―二三四―五一〇)

関係団体新年会日程

【社団法人桐生倶楽部新年互礼会】

- ▽日時 一月四日(水) 正午～会場 桐生倶楽部会館
- 【上毛新聞社新年交歓会】
- ▽日時 一月五日(木) 午後零時半～会場 マーキュリーホテル

【桐生税務署管内青色申告会連合会及び桐生青色申告会役員新年賀詞交歓会】

- ▽日時 一月十一日(水) 午後五時三十分～会場 桐生商工会議所ケイビックホール

【桐生商工会議所女性会新春祝賀会】

- ▽日時 一月十二日(木) 午後六時～会場 桐生グラウンドホテル

【桐生市繊維団体合同新年会】

- ▽日時 一月十三日(金) 午後五時～会場 桐生地域

地場産業振興センター

【社団法人桐生青年会議所新年互礼会】

- ▽日時 一月十六日(月) 午後七時～会場 桐生市民文化会館スカイホールA

【桐生労働基準協会・産業安全衛生祈願祭並びに新年互礼会】

- ▽日時 一月十七日(火) 午後四時～会場 桐生プリオパレス

【桐生商工会議所青年部新年会員交歓会】

- ▽日時 一月二十日(金) 午後六時半～会場 桐生商工会議所ケイビックホール

【笠懸町商工会新年互礼会】

- ▽日時 一月二十日(金) 午後六時～会場 桐生グラウンドホテル

【桐生群銀会新年会】

- ▽日時 一月二十日(金) 午後五時三十分～会場 桐生市民文化会館スカイホール

2/24 決算書・申告書作成指導会

平成二十三年分決算書と申告書の作成指導会を次のとおり開催します。

- ▼開催日 平成二十四年二月二十四日(金)
- ▼受付時間 (午前) 午前九時三十分～十一時三十分 (午後) 午後一時三十分～三時

【群馬県商工会議所連合会新年互礼会】

- ▽日時 一月二十六日(木) 午前十一時～会場 前橋商工会議所会館ローズ

【桐生経友会新年会】

- ▽日時 一月三十日(火) 午後六時～会場 桐生市民文化会館スカイホールB

【桐生商店連盟協同組合新春祝賀会】

- ▽日時 二月二日(木) 午後六時～会場 美喜仁
- 【東和銀行桐生支店新生会新年会】
- ▽日時 二月八日(水) 午後五時四十分～会場 桐生市民文化会館国際会議室

【桐生信用金庫信営会】

- ▽日時 二月十日(金) 午後六時三十分～会場 桐生プリオパレス

※紙面の都合上、掲載できなかった団体はご了承ください。

三十分

▼開催場所 桐生商工会議所六階ケイビックホール

▼対象者 桐生市内の青色申告者(個人)

※お問い合わせは、桐生商工会議所商業課(Tel 〇二七七―四五―一二〇一)まで。

謹賀新年

<p>常議員</p> <p>藤生五郎</p>  <p>代表取締役 株式会社桐生ソウイング</p>	<p>常議員</p> <p>鑑田実</p>  <p>代表取締役社長 株式会社矢野</p>	<p>常議員</p> <p>菅谷武</p>  <p>代表取締役 株式会社アイデアセンター</p>	<p>常任相談役</p> <p>小池久雄</p>  <p>共立織物株式会社 相談役</p>	<p>専務理事</p> <p>長尾昌明</p> 	<p>会頭</p> <p>日野茂</p>  <p>代表取締役 株式会社ミツバ</p>
<p>常議員</p> <p>村田陽一郎</p>  <p>代表取締役社長 株式会社村田工業</p>	<p>常議員</p> <p>小倉康宏</p>  <p>代表取締役社長 株式会社小倉クラッチ</p>	<p>常議員</p> <p>高野智弘</p>  <p>代表取締役社長 株式会社桐生山葵問屋高野商店</p>	<p>常任相談役</p> <p>岡田恒二</p>  <p>常勤監査役 株式会社フジハツ工業</p>	<p>名誉会頭</p> <p>佐藤富三</p>  <p>代表取締役会長 株式会社佐啓産業</p>	<p>副会頭</p> <p>塚越平人</p>  <p>代表取締役会長 株式会社桐生瓦斯</p>
<p>常議員</p> <p>山口正久</p>  <p>代表取締役社長 株式会社トヨタプロダクツ</p>	<p>常議員</p> <p>沢久徹</p>  <p>代表取締役社長 株式会社山田製作所</p>	<p>常議員</p> <p>本田雄一郎</p>  <p>代表取締役社長 株式会社ホンダ</p>	<p>相談役</p> <p>石原庸右</p>  <p>石原会計事務所</p>	<p>名誉議員</p> <p>下田正宏</p>  <p>支店長 株式会社桐生馬銀行</p>	<p>副会頭</p> <p>佐藤良男</p>  <p>代表取締役 株式会社佐藤工業</p>
<p>常議員</p> <p>朝倉泰</p>  <p>代表取締役会長 株式会社朝倉染布</p>	<p>常議員</p> <p>佐羽秀夫</p>  <p>代表取締役会長 株式会社三立応用化工</p>	<p>常議員</p> <p>宮地由高</p>  <p>代表取締役社長 株式会社南青柳</p>	<p>常任相談役</p> <p>園田昇</p>  <p>園田公認 会計士事務所</p>	<p>副会頭</p> <p>柿沼洋一</p>  <p>代表社員 株式会社柿文織物(資)</p>	
<p>常議員</p> <p>阿部高久</p>  <p>代表取締役社長 株式会社桐生整染商事</p>	<p>常議員</p> <p>能澤孝博</p>  <p>代表社員 株式会社オリエンタル</p>	<p>常議員</p> <p>山本豊</p>  <p>代表取締役社長 株式会社日進</p>	<p>常任相談役</p> <p>平澤宏</p>  <p>平澤建設株式会社 取締役会長</p>	<p>副会頭</p> <p>養田隆</p>  <p>代表取締役社長 株式会社マルキン</p>	

謹賀新年

<p>議員</p> <p>櫻井勲夫</p>  <p>(株)サクライデンキ 取締役会長</p>	<p>監事</p> <p>五十嵐健雄</p>  <p>桐生トリコット(株) 代表取締役会長</p>	<p>常議員</p> <p>福田英雄</p>  <p>東洋ポリース(株) 代表取締役会長</p>	<p>常議員</p> <p>須田忠雄</p>  <p>(株)やすらぎ 顧問</p>	<p>常議員</p> <p>大島宏周</p>  <p>大島会計事務所 所長</p>	<p>常議員</p> <p>川村隆</p>  <p>川村(株) 代表取締役社長</p>
<p>議員</p> <p>佐瀬守男</p>  <p>(株)ホットランド 代表取締役</p>	<p>議員</p> <p>相場久男</p>  <p>(有)相場 代表取締役</p>	<p>常議員</p> <p>初山和久</p>  <p>(株)サンフード 代表取締役社長</p>	<p>常議員</p> <p>吉田栄佐</p>  <p>(株)吉田組 取締役社長</p>	<p>常議員</p> <p>押見新一郎</p>  <p>押見会計事務所 所長</p>	<p>常議員</p> <p>木村俊一</p>  <p>(株)小野木商店 代表取締役社長</p>
<p>議員</p> <p>清水久弘</p>  <p>(株)海商水産 代表取締役社長</p>	<p>議員</p> <p>金子由美希</p>  <p>(株)桐生さくらや 代表取締役</p>	<p>常議員</p> <p>山根恒利</p>  <p>(株)山根商事 代表取締役会長</p>	<p>常議員</p> <p>吉野雅比古</p>  <p>桐生建設(株) 代表取締役社長</p>	<p>常議員</p> <p>坂田忠男</p>  <p>桐生信用金庫 理事長</p>	<p>常議員</p> <p>澤田匡宏</p>  <p>丸幸(株) 代表取締役社長</p>
<p>議員</p> <p>竹内靖博</p>  <p>(株)シロキヤ 代表取締役</p>	<p>議員</p> <p>岸田信克</p>  <p>(株)近江屋書店 代表取締役</p>	<p>監事</p> <p>大西章雄</p>  <p>(株)大西ライト工業所 取締役相談役</p>	<p>常議員</p> <p>秋山力</p>  <p>(株)両毛システムズ 代表取締役社長</p>	<p>常議員</p> <p>川島康雄</p>  <p>(有)川島組 代表取締役</p>	<p>常議員</p> <p>星野幸男</p>  <p>星野染工(株) 代表取締役</p>
<p>議員</p> <p>田中栄一</p>  <p>日本ゼウス工業(株) 代表取締役</p>	<p>議員</p> <p>坂部義治</p>  <p>桐生中小企業 福祉事業(協) 専務理事</p>	<p>監事</p> <p>生方準一</p>  <p>税理士法人 生方会計 桐生事務所 所長</p>	<p>常議員</p> <p>岡田昌之</p>  <p>カナイ石油(株) 代表取締役社長</p>	<p>常議員</p> <p>北川祐一郎</p>  <p>北川設計 代表</p>	<p>常議員</p> <p>石井謙三</p>  <p>石井経理事務所 所長</p>

辰  謹賀新年  辰

<p>議 員</p> <p>牛 腸 章</p>  <p>桐生絹織(株) 取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>森 山 俊 男</p>  <p>㈱梁瀬産業社 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>中 野 幸 夫</p>  <p>桐生工業(株) 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>須 永 誠 冬</p>  <p>㈱須藤機械 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>市 川 導 宏</p>  <p>㈱市川鉄工 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>星 野 幸 一</p>  <p>㈱ほしのドライ 取締役会長</p>
<p>議 員</p> <p>小 林 雅 子</p>  <p>小林当織物(株) 代表取締役</p>	<p>議 員</p> <p>岩 野 武 彦</p>  <p>共立織物(株) 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>新 見 祐 三</p>  <p>新見化学工業(株) 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>田 中 義 弘</p>  <p>㈱ススキワーパー 代表取締役</p>	<p>議 員</p> <p>岡 田 悠 天</p>  <p>フジハツ工業(株) 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>茂 木 理 亨</p>  <p>㈱モキカバン店 代表取締役</p>
<p>議 員</p> <p>佐 藤 好 雄</p>  <p>佐啓産業(株) 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>遠 坂 隆 之</p>  <p>遠伊織物(有) 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>西 場 伸 一</p>  <p>西場工業(株) 代表取締役</p>	<p>議 員</p> <p>田 辺 賢 二</p>  <p>㈱タナベ鉄工 取締役会長</p>	<p>議 員</p> <p>加 藤 貢</p>  <p>加藤鉄工(株) 代表取締役</p>	<p>議 員</p> <p>森 裕 美</p>  <p>森産業(株) 代表取締役社長</p>
<p>議 員</p> <p>篠 田 一</p>  <p>丸中(株) 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>丸 中 一 豊</p>  <p>㈱カネトモ 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>高 橋 和 男</p>  <p>㈱トーワ 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>網 嶋 篤 夫</p>  <p>サンエーブ工業(株) 桐生製作所 所長</p>	<p>議 員</p> <p>新 貝 隆 一</p>  <p>㈱新貝製作所 代表取締役社長</p>	<p>議 員</p> <p>山 崎 達 也</p>  <p>メデアアランド・ ウイング(株) 代表取締役</p>
<p>議 員</p> <p>松 井 智 司</p>  <p>㈱松井ニット技研 代表取締役</p>	<p>議 員</p> <p>桑 原 志 郎</p>  <p>㈱クワテルニット 代表取締役</p>	<p>議 員</p> <p>森 隆</p>  <p>不二山機械工業(株) 代表取締役会長</p>	<p>議 員</p> <p>長 澤 敏 美</p>  <p>㈱美原 代表取締役</p>	<p>議 員</p> <p>鈴 木 喜 一</p>  <p>㈱鈴木機械 取締役会長</p>	<p>議 員</p> <p>新 井 智 乙</p>  <p>㈱新井工業 代表取締役</p>

謹賀新年

 <p>和 田 洋 一</p> <p>議 員 代表取締役 株光西社</p>	 <p>松 井 研 三</p> <p>議 員 代表取締役社長 株アリオ コーポレーション</p>	 <p>小 林 克 之</p> <p>議 員 代表取締役会長 桐生典礼株</p>	 <p>清 水 泰 江</p> <p>議 員 代表取締役 株島田組</p>	 <p>大 川 恭 史</p> <p>議 員 代表取締役 桐生水道株</p>	 <p>柳 明 彦</p> <p>議 員 代表取締役社長 株ヤナギ</p>
	 <p>松 枝 幹</p> <p>議 員 代表取締役 太陽印刷工業株</p>	 <p>小 林 康 人</p> <p>議 員 常務取締役 株沼田屋タクシー</p>	 <p>平 澤 堪</p> <p>議 員 代表取締役 平澤建設株</p>	 <p>大 澤 直 也</p> <p>議 員 取締役 大澤木工(有)</p>	 <p>青 木 利 夫</p> <p>議 員 桐生支店 支店長 株足利銀行</p>
	 <p>坂 入 勝</p> <p>議 員 代表取締役社長 株美喜仁</p>	 <p>森 米 廣</p> <p>議 員 代表取締役 株森エンジニアリング</p>	 <p>金 井 利 夫</p> <p>議 員 代表取締役社長 三興電気株</p>	 <p>小 田 切 猛</p> <p>議 員 桐生支店 支店長 株東和銀行</p>	
	 <p>野 沢 八 千 万</p> <p>議 員 代表取締役社長 株ライオンガーデン</p>	 <p>川 田 利 雄</p> <p>議 員 代表取締役 株桐生旅行</p>	 <p>金 子 昌 弘</p> <p>議 員 代表 金子不動産</p>	 <p>谷 信 良</p> <p>議 員 所 長 株谷信良 税理士事務所</p>	
	 <p>井 上 和 夫</p> <p>議 員 代表取締役 株関信ゼベリン</p>	 <p>村 村 隆 夫</p> <p>議 員 代表取締役会長 株桐生タイムス社</p>	 <p>北 村 隆</p> <p>議 員 代表取締役社長 株北村土木</p>	 <p>新 井 茂 男</p> <p>議 員 代表取締役 株坂本建設</p>	

2012 謹賀新年 元旦

桐生商店連盟

協同組合

理事長 大澤 豊
 副理事長 齋藤 雄一
 〃 今川 守
 〃 金井 正夫
 〃 東山 正夫
 〃 茂木 理亨

桐生機械工業 連合会

副会 長 日野 茂
 会 長 北野 徹
 〃 小倉 康宏
 〃 山口 正夫
 〃 山澤 孝博
 〃 能澤 博

桐生地区 勤労対策協議会

副会 長 日野 茂
 会 長 大澤 豊
 〃 後藤 隆造

桐生地区 プラスチック工業会

副会 長 森下 誠一
 会 長 森下 誠一
 〃 齊藤 辰雄

群馬県 金属プレス工業会 桐生支部

支部長 新貝 隆一
 副支部長 岩崎 研司

桐生溶接協会

副会 長 尾崎 啓博
 会 長 藤田 茂

桐生税務署管内 税務関係団体 連絡協議会

会 長 鈴木 正平
 役員・会員一同

桐生地区産業界 保全連絡協議会

副会 長 阿部 研一
 会 長 井草 建一
 〃 小林 幸治
 〃 園田 浩之



桐生青色申告会

副会 長 柳澤 永彰
 会 長 金柳 英雄
 〃 大澤 昭一
 〃 田村 一實
 役員一同

桐生商工会議所 青年部

直前会 長 鈴木 章弘
 会 長 山根 明
 副会 長 金子 達也
 〃 山田 也
 〃 須田 昇
 〃 高須 淳史

桐生商工会議所 青年部OB会

代表幹事 増子 相一
 副代表幹事 星野 幸一
 〃 藤掛 和男
 〃 須藤 誠吾
 〃 桑原 志郎

桐生商工会議所 女性会

副会 長 廣田 須磨子
 会 長 矢野 静子
 〃 赤石 美得
 〃 増山 智
 相談 役 河原井 満津子

ぐんま警察官友の会

副会 長 日野 茂
 会 長 市川 導
 〃 坪野 宏

桐生発明協会

副会 長 塚越 平人
 会 長 佐羽 秀夫
 〃 森 喜美男
 〃 大西 章雄

ファッションタウン桐生 推進協議会

副会 長 日野 茂
 会 長 塚越 平人
 〃 佐藤 良一
 〃 柿沼 洋一
 〃 養田 隆造
 〃 後藤 豊
 〃 大山 澤正夫
 〃 山口 正夫
 〃 他役員一同



桐生 ライオンズクラブ

会長 L 岩崎 稔
 前会長 L 松島 浩樹
 副会長 L 今井 芳夫
 幹事 L 楠木 豊
 会計 L 林 整

桐生中央 ライオンズクラブ

会長 L 新井 敏雄
 前会長 L 堀 博明
 副会長 L 鈴木 雅也
 幹事 L 藤巻 雅也
 会計 L 亀山 光司

桐生東 ライオンズクラブ

会長 L 長谷 輝夫
 幹事 L 小川 一成
 会 計 L 大西 章雄
 〃 L 栗原 光雄
 〃 L 山根 恒利

以上の団体は会議所館内に事務局を置く関係団体です。

平成23年

桐生商工会議所の歩み

1月

◆7日 新春互礼会をケービックホールで開催。地元選出国會議員や関係団体、関係諸官庁からの来賓をはじめ、当所の議員、部会幹事、青年部・女性会役員など約二百五十人が参加。桐生市の産業振興と繁栄に向け、決意を新たにす。



◆25日 第十六回ファッシュンタウ桐生写真コンテストの表彰式が行われた。最高賞にあたる「推薦」には、中村鉄雄さん（相生町）の「躍動」が選ばれた。また、作品展は当所一階ロビーにおいて、三十一日まで開催された。

2月

◆1日～4日 東京ビッグサイトで開催された共同展示商談会「Igel IN PPOON 春2011」に初出展し、平成二十二年地域資源∞全国展開プロジェクトの採択を受けて取り組んだ「ものづくり作家と商業の融合」一店

一作家（二工場）プロジェクト」の成果を多くの来場者に紹介した。

◆3日～5日 平成二十二年全国商工会議所観光振興大会が青森市で開催され、全国の商工会議所の役員・議員、観光関係者千二百人が参加。当所からは日野茂会頭、塚越平人副会頭らが出席した。



◆16日 当所創立七十周年記念「会員感謝の集い」が開催された。桂歌丸師匠と林家正蔵師匠という落語会を代表する二人会に会員事業所から千二百人近くの参加があり、会場の市民文化会館シルクホールはほぼ満席の盛況だった。

3月

◆24日 当所の常議員会・通常議員総会がケービックホールで開催され、日野茂会頭は、「平成二十三年が明けてまだ三カ月にならないのに歴史に残る多くの出来事が起こった。東日本大震災では多くの方々が被災し、桐生でも受け入れが始まっている。商工会議所の力を合わせ、支援するための義援金を五百万円集め、桐生市に寄付したい」と挨拶を述べた。

4月

◆1日 平成二十三年度がスタート。

スローガンは「桐生・みどり両市の合併を産業界から促進しよう」、「近代化産業遺産を活用した産業観光を推進し、世界遺産登録につなげよう」、「産学官の連携を深め、二十一世紀型の産業創出につなげよう」、「環境に配慮した企業風土を醸成し、自然と共生した豊かなまちづくりを指そう」の四項目。

◆14日 東日本大震災で被災し、桐生市に避難している被災者のために役立ててもらおうと、義援金五百万円を桐生市に寄贈した。



三月二十四日に開催した常議員会・通常議員総会の席上、決議を行い、役員・議員、幹事、青年部、女性会の

◆27日 当所女性会の通常総会がケービックホールで開催され、役員改選で、廣田須磨子氏が会長に再任した。

5月

◆16日 東日本大震災の影響で業務に支障を来すなど、経営に悩みを抱える中小企業を対象にした支援説明会を開催した。

◆20日 ファッシュンタウ桐生推進協議会の第十五回定時総会がケービックホールで開催され、役員改選で日野茂会頭が会長に選任された。

また、「2011わがまち風景賞」の表彰式も行われた。

6月



◆3日 両毛五市商工会議所協議会の第一回会頭会議が、幹事会議所の当所会館で開催された。東日本大震災により、産業界や観光分野が大きな打撃を受けている厳しい状況の中で、新たなイベントの開催やプレミアム付き商品券の発行など、各会議所の活性化への取り組みなどが話し合われた。

◆18日 第二十二回会員ゴルフ大会を開催、百二十七名が参加した。参加費の一部とチャリティイベントの収益は義援金として桐生市に寄贈された。優勝は、一般の部が角田武彦さん、シニア・レディースの部が藤田憲昭さん。



◆30日 当所の常議員会・通常議員総会がケービックホールで開催され、平成二十二年度事業報告並びに一般会計収支決算をはじめとする各会計の決算議案が上程され、いずれも原案通り承認された。

経営に関するご相談は、群馬銀行へ!!

- 事業継承 ●M&A ●確定拠出年金 (401k) ●事業資金のご融資 ●社債発行支援
- シンジケートローン ●金銭債権信託 (売掛債権流動化サービス) ●株式公開支援
- ベンチャー支援 ●一括ファクタリングシステム ●ビジネスネットバンキング
- ビジネスマッチングサービス ●国際業務支援 ●産学官連携

くわしくは窓口までお気軽にお問い合わせください



あなたの夢、応援します。
群馬銀行
http://www.gunmabank.co.jp/

次回の金融・経営相談会(桐生会場)は1月10日(火)です
原則として毎月第2火曜日9:30~12:00桐生商工会議所にて無料で開催しています

協会スタッフが皆さまの様々なご相談に応じています。
創業に関する相談にも乗らせていただきます。お気軽にご相談ください。

創業・経営・再生「三つの支援」で企業の明日を積極サポート!

群馬県信用保証協会

桐生支店 ☎0277-43-6211(代)・桐生連絡所 ☎0277-45-1201(代)
桐生市錦町3-1-25(桐生商工会議所会館内) 詳しくはhttp://gunma-cgc.or.jp/まで

7月

◆7日 赤城地区産業経済交流会を開催。日野茂会長は「この交流会も十八回を数えるが、開始当初の熱意が失われつつあるように感じる。再度、気を引き締め直して両市が力の一つにしていなければならぬ」と語気を強め、参加メンバーを鼓舞した。

◆8日 正副会頭、専務理事が桐生地域の産業振興と活性化につなげるため、重要課題を各部会・委員会で協議し集約した十七案件の政策提言要望書を亀山豊文桐生市長と荒木恵司桐生市議会議長に提出した。

8月

◆5日～7日 第四十八回桐生八木節まつりが三日間にわたって開催され、ジャンボパレード、ダンス八木節、全日本八木節競演大会、子どもみこしまつり、まゆ玉ころがし大会など、多彩な催しが繰り広げられ、市制施行九十周年記念の今年は、四十五万六千人の人出で賑わった。



9月

◆1日「プレミアム付き商品券「きりゆう商品券」の利用が開始された。商品券は販売総額一億円（プレミアム二〇％）で発行総額は一億二

千万円。登録店舗は三百九十四店に及んだ。

◆8日 第五十三回群馬県商工会議所議員大会が高崎ビューホテルで開催された。群馬県内から役員・議員など約三百七十人が参加、県内十会議所から出されていた要望事項などが大会で取りまとめられ、決議を行った。



◆17日～21日 当所環境・生活部会（福田英雄部会長）が議員視察研修としてベトナム、ホーチミン視察を実施した。両ホチミンの関係会社、ファイブスターソリューションやジェットロのホーチミン事務所を訪問した。

10月

◆13日 当所青年部（福田雅之会長）の創立三十周年記念大会が市民文化会館で開催され、現役員、OB会員、来賓など約二百人が参加し、青年部の三十年の歩みを祝った。



◆14日～16日 当所工業部会（藤生五郎部会長）が合同議員視察研修として、東日本大震災で甚大な被害を受けた福島県を始めとする東北三県を訪問した。

◆21日 常議員会の席上「当所委員会設置規約の一部改正（案）」についてが承認され、これまでの文化教育委員会から会員交流委員会に名称を改めた。

◆28日～11月6日 第十六回桐生フアッションウィークが市内全域で開催され、多数のイベントが繰り広げられた。第六回クラシックカーフェスティバルin桐生、着道楽インキリゆうなど多くの集客となった。



11月

◆14日～15日 当所建設部会（北川紘一郎部会長）が議員視察研修を開催。世界文化遺産登録が決まった岩手県平泉町中尊寺を見学。また、東日本大震災の被災地である仙台市、松島町、塩釜市を訪問した。

◆24日～26日 全国商工会議所観光振興大会in関門が北九州と下関両市で開催され、全国の商工会議所の役員・議員、観光関係者千七百人が参加、当所からは日野茂会頭、塚越平

人副会頭、新見祐三議員ら五人が出席した。

◆28日 関東経済産業局長と両毛五市商工会議所会頭との懇談会が当所で開催された。

◆30日 第六回会員感謝の集いがケイビックホールで盛大に開催された。席上、二十五年の永年継続会員百十三人に対し表彰が行われ、出席者に日野会頭から感謝状が贈呈された。アトラクションでは、NHKのど自慢桐生大会で優勝した中野菜穂子さんが熱唱し大きな盛り上がりを見せた。



12月

◆2日 第十八回会員ボウリング大会を開催。五十一名が参加、優勝は男性の部が小林一雄さん、女性の部が村岡君江さんだった。

◆8日 亀山豊文桐生市長とみどり市の経済界メンバーとの懇談会が笠懸町商工会館で開かれた。桐生・みどり両市の経済交流を進める赤城地区産業経済交流会（会長・日野茂会頭）のみどり市側メンバーの呼び掛けにより開催され、約二十人が出席した。

※記載されている役職名は当時のものです。

郷土銘酒

赤城山

近藤酒造株式会社

TEL 72-2221(代) FAX 73-1603

パソコンで楽々記帳!!

事務合理化、経営改善、何でもお気軽にご相談ください。スタッフ一同皆様からのご連絡をお待ちしています。



有限会社 山上会計事務所
税理士 山上達也事務所

http://yamakami.biz

TEL:0277-46-1122 FAX:0277-22-0338
桐生市元宿町 9-26 e-mail:info@yamakami.biz

両毛5市 商工会議所

会頭年頭あいさつ

両毛五市（足利・佐野・館林・太田・桐生）の商工会議所では、協議会を設け様々な共同事業を実施して地域の交流を図るとともに連携を深めている。新年にあたり、各地商工会議所会頭の年頭所感の中から平成二十四年の重点事業、重点項目などを抜粋し紹介する。（桐生は一頁の日野会頭挨拶を参照）

太田

活性化に向けて
更なる連携の強化を



太田商工会議所
会頭

正田 寛

両毛五市商工会議所会員の皆様
に、謹んで新年のご挨拶を申し上げ
ます。

昨年は、東日本大震災が日本経
済に甚大な被害を及ぼし、また為
替の超円高やタイの洪水、そして
欧州の債務危機などが続き、企業
にとりまして大変厳しい経営環境
が続きまして。

そんな状況の中で、両毛地域に
おいては昨年待望の北関東自動車
道が全線開通となり、両毛地域か
ら東西南北全国各地への移動時間
が格段に向上いたしました。物
流などの企業活動ばかりでなく、
観光や地域間交流などへの大きな

効果が期待をされております。

私も、このように整備され
た高速交通網を有効に活用し、両
毛地域の商工会議所の皆様と連携
を更に密にしながら、広域的な地
域の活性化に取り組んでまいりま
す。

また昨年政府は、TPP（環太平
洋経済連携協定）への参加交渉を
表明いたしました。このTPPに
ついては現在「TPPおぼけ論」
が徘徊・流布している状況であり、
太田や周辺地域の置かれた状況は
貿易の拡大なくして存立できない
ことを、会員や関係機関の皆様へ
広く啓蒙・要請していく所存です。

館林

「三つのC」を

行動指針に



館林商工会議所
会頭

河本 榮一

新年明けましておめでとうござ
います。

本年は、「キラリと輝く企業
を育て、産業とまちをつくる。館
林商工会議所」を目指します。

それは、〇組織基盤を強化する
〇産業界の声を実現する〇会員サ
ービスを拡充する〇企業と人材を
育成する〇まち・都市づくりを推
進する―ことだと考えています。

また、「挑戦challeng
e」、「創造creation」、
「連携cooperation」の

「三つのC」を商工会議所の行動
指針としたいと思っております。

特に、平成二十四年は、重点目
標を五つに設定したいと思えます。
第一に、会員拡大運動の推進と
財政基盤の強化・充実を目指しま
す。

第二に、商工会議所元気再生ビ
ジョンに基づく事業計画を着実に
推進したいと思えます。そのため
、「連携・協働する商工会議所づく
り」「挑戦する中小企業への支援」
を柱とした事業計画の選択と重点
化を図ります。

第三に、会員事業所と密着した
事業・サービスの展開に努めます。
情報の提供はもちろん、会員企業
への巡回指導・相談事業を強化し
支援に努めます。

第四に、委員会・部会活動の活
性を図るとともに、重点プロジ
ェクト・主要事業計画の推進を図
るための組織を編成します。

第五に、市や関係機関等との連
携になお一層努めてまいりたいと
思います。

「好雨（こうう）時節を知る」。
中国の杜甫の五言絶句の一節です。

「人間が努力に努力を重ねていれ
ば、おのずとその時期になれば待
ち望んだ雨が降ってくるものだ」
と勝手に解釈していますが、館林
商工会議所も原点に立ち返って足
元を固め、将来への布石を打ち、
さまざまな困難を乗り越えていく
強さを発揮しなければならぬ時
期にあると思っております。

佐野

北関東の玄関口として
両毛地域の活性化を担う



佐野商工会議所
会頭

島田 嘉内

平成二十四年の新春を迎え両毛
五市商工会議所の皆様に、謹んで
年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年の日本経済は、リーマンシ
ョック以降目まぐるしく、そして
急激な変動を見せ、加えて三月十
一日には未曾有の被害をもたらした
東日本大震災が発生し、原発事
故による電力供給の制限や風評被
害、デフレや円高、雇用情勢の悪
化、タイの洪水の影響など経済環
境は大変厳しくそして激動の年で
ありました。

佐野市では、東日本大震災によ
り市役所本庁舎が使用不能となっ
たため、建て替えを余儀なくされ

るなどの被害が発生しました。当
所としては、新庁舎建設の候補地
については、中心市街地活性化の
施策の中で市庁舎の占める割合は
計り知れないものがあるという認
識から、市庁舎の建設にあたって
は、現庁舎を含む中心市街地に建
設されるよう通常議員総会の議決
を受け佐野市に対し要望書を提出
しました。そして、新庁舎設計業
務委託関連補正予算が議会で承認
され建設に向けて始動いたしまし
た。

新庁舎建設に伴い、中心市街地
活性化対策事業として県道桐生岩
舟線の拡幅事業、南北シンボル軸
一級一号線の整備事業それらに伴
う電線地中化等も必要であり事業
の実施に向けた提言や要望等も行
なっていきたいと思っております。

このような状況の中にあつて、
佐野市では、北関東自動車道の全
線開通、東北自動車道佐野サービ
スエリア内スマートインターチェ
ンジの供用開始など市内に三ヶ所
のインターチェンジが設置されま
した。北関東の玄関口として、ま
た、交通の要衝として佐野市のみ
ならず両毛地域の発展が今後益々
期待される所存であります。

新しい年を迎え、当商工会議所
といたしましては、恵まれた立地
条件と地域が持つ様々な資源を活
かし、地域経済の活性化及び産業
の振興発展そして魅力あるまちづ
くりのため、役員・職員・職員が
一体となり、行政や関係機関と協
調し積極的に事業に取り組んで参
る所存であります。

会員の皆様には、引き続きご支
援、ご協力をお願い申し上げます
とともに、会員事業所の益々のこ

発展をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

足利

戦略テーマは
学びの舎のまち・足利
「人づくり」「モノづくり」
「まちづくり」を基軸に事業を推進



足利商工会議所 会長 早川 慶治郎

平成二十四年の新春を迎え、両毛地域の商工会議所会員の皆様にご挨拶とさせていただきます。昨年は、百年に一度と言われた経済危機から脱し、新しいスタートが切れると期待していましたが、三月十一日の東日本大震災、そして福島原発事故の影響で一層厳しい状況となり、さらには、超円高デフレが続ぎ、先行き不透明感の強い中で越年することになりました。

地域の会員事業所は景気低迷、少子高齢化、地域間格差の拡大など厳しい局面に遭遇しており、商工会議所の果たすべき役割は、ますます重要になっていきます。足利商工会議所は、事業を足元から見詰め直し、その使命である「人づくり」「モノづくり」「まちづくり」を、一層の危機感と緊張感を持って推し進めてまいります。「人づくり」は、先ずは足利5S

学校の推進です。「整理・整頓・清掃・清潔・躰」の5S運動を小規模事業者まで広く呼びかけ、経営の改善、効率化につなげたいと考えています。

「モノづくり」は、足利ブランドの発信です。これは、商工業者のみならず、農工商連携による新商品、観光物産の創造など広がりを見せています。個々の企業の技術得意分野、逸品の発掘など、クリエイターとしての技を磨き続けることです。

「まちづくり」は、「歴史と文化と花のまち足利」のメリットを最大限活かしながら、地域間競争に勝ち残るための戦略、戦術を官民が一体となって協力、推進し、交流人口の拡大を目指すことです。

足利商工会議所は、「学びの舎のまち・足利」を戦略テーマに、「人づくり」「モノづくり」「まちづくり」を基軸として各事業を着実に実行するため、選択と集中を図りながら取り組んでまいりますので、関係機関、関係団体のご指導をお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。



『もくべえ』 当所ロビーに展示中

JST(科学技術振興機構) 研究開発プログラム「地域力による脱温暖化と未来の街」桐生の構築(プロジェクトリーダー・宝田恭之群馬大学教授)で開発した木製の塀『もくべえ』が、現在当所会館一階ロビーに展示されています。

同製品は、一定の間隔で設置した柱に、四センチの厚さで規格化した地元産の天然乾燥材を差し込み、自由な形状の木塀をつくる仕組み。地場の林業に光を当てつつ、二酸化炭素の排出量が多いコンクリートから排出量の少ない木材へ転換しようというもので、実用新案申請も済ませている。お問い合わせは、桐生脱温暖化プロジェクト事務局(Tel 三〇一―一五〇八)まで。



話題のスマートフォンを体感

当所主催 情報化セミナーを開催

最近話題の「スマートフォン」の知識を身に付け、普及につなげようと当所主催の情報化セミナーを次の通り開催する。

- ▽日時 平成二十四年一月十九日(木) 午後三時～五時
- ▽会場 桐生商工会議所三階 桜の間
- ▽定員 二十名(定員になり次第締め切り)
- ▽内容 (第一部) スマートフォン普及の現状 (第二部) スマートフォンタッチ&トライ
- ▽共催 (株)NTTドコモ群馬支店 法人営業部
- ▽お申込み・問い合わせ先 当所総務課(Tel 〇二七七一―四五―二〇二)

障害者雇用納付金・調整金・報奨金説明会のご案内

障害者雇用納付金等申告・申請説明会を開催しますのでご参加ください。

納付金・調整説明会

- 第1回 / 1月26日(木) 13:30～15:50 前橋: 群馬県社会福祉総合センター
- 第2回 / 2月8日(水) 10:00～12:00 前橋: 群馬県社会福祉総合センター
- 第3回 / 2月14日(火) 13:30～15:50 太田: 太田市社会教育総合センター
- 第4回 / 2月23日(木) 13:30～15:50 高崎: 群馬職業訓練支援センター
- 第5回 / 2月27日(月) 10:00～12:00 太田: 太田市社会教育総合センター
- 第6回 / 3月6日(火) 13:30～15:50 前橋: 群馬県社会福祉総合センター

報奨金説明会

- 第1回 / 2月8日(水) 13:30～15:40 前橋: 群馬県社会福祉総合センター
- 第2回 / 2月27日(月) 13:30～15:40 太田: 太田市社会教育総合センター

【申込・問合せ先】 群馬高齢・障害者雇用支援センター 027-287-1511

第17回 ファッションタウン桐生 写真コンテスト 審査結果

「第十七回ファッションタウン桐生写真コンテスト」の審査会が昨年十二月十三日に当所で開かれ、二十八点の入賞作品が決定した。

同写真コンテストはファッションタウン推進運動の一環として、公募していたもの。桐生の催事や地域資源、観光資源などを掘り起こしてカメラに捉え、ビジュアルな形で情報発信していくために毎年開催している。

桐生の伝統産業や自然、街並み景観、イベントなどのほか、桐生八木節まつりや十一月の桐生ファッションウィークの参加行事などを撮影した百三十一点の作品が寄せられた。

審査会はフリーカメラマンの小池正光氏と群馬県写真材料商組合桐生支部副支部長の細田頼男氏を特別審査員に、協議会の宝田恭之運営委員長、各委員長、商工会議所事務局長らが委員となり審査に当たった。

この結果、最高賞の「推薦」には桐生ファッションウィークのファッションデイin桐生



写真上：推薦「ファイブ・スター」米田籌穂さん
写真中：特選「未来に発進」石井稔さん
写真下：特選「そぞろ歩き」横坂正行さん

を撮影した米田籌穂さん（宮本町）の「ファイブ・スター」が選ばれた。五人の若者がエネルギーギッシュに踊る姿と色彩感覚が高く評価された。また「特選」には群馬大学が開発した電動コミュニティバスに試乗する様子を撮影した石井稔さん（菱町）の「未来に発進」と、本町にある古民家と着物姿のご婦人を雰囲気良く収めた横坂正行さん（浜松町）の「そぞろ歩き」が選ばれた。

応募作品も含めすべての作品は「ファッションタウン桐生写真展」として桐生商工会議所会館一階ロビーで展示される。

入賞作品並びに撮影者は次のとおり（敬称略）。

【推薦】

『ファイブ・スター』

米田 籌穂

【特選】

『未来に発進』

石井 稔

『そぞろ歩き』

横坂 正行

【準特選】

『フラガールダンス』

中村 鉄雄

『輪まつり』 谷澤 滑治

『ハロウインの目』 上岡芳三郎

『垂涎の名車』 小野 吉英

『みんな頑張れー！』 星野 紀典

【入選】

『輝く清流』 坂本 幸孝

『まゆ玉ころがし』

河内 清

『涌丸獅子舞』

山岸 信男

『阿波スマイル』

中村 佳子

『着物でファッションショウ』

小野 武子

『上手く描けたね』

針谷喜一郎

『神楽』 藤生 孝昭

『紅葉日和のトロッコ』 新谷 昌彦

『雨を吹っ飛ばせ！』 森 敏彦

『出発（ジャンボパレード）』 新井 晴夫

【佳作】

『チェックがポイント』 坂本 徹

『まゆ玉ころがし』

正田 多正

『ダンス八木節』

大澤 弘治

『賑わい』

田村 陽一

『伝統』

長谷川愛実

『曳き違い』

橘 伸一朗

『起竜が走る』

山口 裕子

『骨董市にて』

茂木 武

『心一つに』

山崎 一順

『真冬の行事②』

前原 英夫